

本講座は、早稲田大学エクステンションセンターにて開催されます。

ご希望の方は、以下の URL から お申込み下さい。

<https://www.wuext.waseda.jp/course/detail/64866/>

ジャンル 人間の探求

早稲田校

 申込リストを見る

思春期の子どもの心を読み解く

不可解な言動に隠れた本当の意味の理解と対応演習

夏

 会員先行申込リストを見る

本田 恵子（早稲田大学教授）

コード 120523

定員 30名

単位数 1

会員価格

受講料 ¥11,880

ビジター価格

受講料 ¥13,662

この講座に申し込む



表示金額には、消費税等が含まれていません。

[+ 講座検索画面TOPへ](#)

目標

- ・様々な行動化(だんまり、反抗、親や兄弟への暴言・暴力、不登校、家庭内での窃盗など)や身体化(起きられない、身体が痛くなる、食欲不振、やる気が起きない)などが生じるメカニズムを脳と身体のかみから理解します。
- ・子どもが語り始めるための、親側や支援者側の声かけの仕方を具体的に練習して習得します。
- ・話し合いのコツ(対立している両方ともが納得できる解決方法)を理解します。
- ・思春期に乗り越える必要のある課題と周囲の人のサポートの仕方について理解します。

講義概要

本講座は、思春期の子どもの対応する家族・学校の先生・福祉機関の職員の方等が、不可思議な子どもの言葉や行動を通して子ども達が本当に伝えたいメッセージを理解することを目的としています。素直に親の言うことを聞いてなんでも話してくれたり、学校にも毎日通っていた子ども達がある日から突然だんまりになったりやる気を失ったり、ゲームばかりするようになったり、理由を聞いても「うるさい」と心を閉ざしてしまったりするとどうしていいか困惑します。目標の4つの項目を1回ごとに理解するために、理論的背景と具体例をつなげていきます。また、どのように相手の話を聴いたらよいかの練習もしていきます。

各回の講義予定

回	日程	講座内容	
1	07/05	様々な行動化や身体化のメカニズムを理解する	思春期（前思春期の小学校4年生以降から、思春期の中学・高校時代）に生じやすい様々な行動化や身体化について、脳の発達メカニズムを元に理解していきます。言葉よりも行動が発達して衝動的な行動が増えている場合、ことばと思考が発達して何でも論破したがる場合、考えようとすると言葉が追いつかなくてだんまりになってしまう場合、スマホやゲームなどを止められなくなってしまうなど、脳の機能のバランスが影響していることを理解します。
2	07/12	子どもが語り始めるための、支援者の声掛け	行動は、何をしたのか、何がしたかったのかをことばにできるようになると、自己理解が進みます。気持ちや行動が不安定になっている子どもに対して、支援者が「安心基地」になるためにどのような態度や声掛けが大切なのかを具体例を通して練習していきます。また、子どもの行動の的確な翻訳の仕方や、子どもが語りやすい質問の投げかけ方などについても練習します。
3	07/19	話し合うためのコツ	子どものメッセージがわかったら、解決方法を探します。子どもと家族、子ども同士、子どもと先生など、相手や場面を設定して子どもが自分で解決策を見つけていけるように話を進める練習をします。
4	07/26	思春期に乗り越える必要のある課題の理解と周囲のサポートの在り方	子どもから大人になる中間地点である思春期は、身体も考え方も気持ちも変わっていきます。「自分らしさ」を築くために、子ども自身が自分の得意なところも苦手なところも「ありのまま」に受け止められるようになるには、周囲がその人を「ありのまま」に受け止めることが大切です。「自己理解を進めるための周囲のサポートの在り方を学びます。

ご受講に際して（持物、注意事項）